

にかほ市地域公共交通活性化協議会委員

«F3»

«F4» «F5» 様

にかほ市地域公共交通活性化協議会
会 長 本 田 雅 之

第2回 にかほ市地域公共交通活性化協議会
書面協議の開催結果について(報告)

盛夏の候、貴職におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日ごろより、協議会事業に対してご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、過日開催いたしました令和2年度第2回本協議会・書面協議につきまして、ご多忙のところご審議いただきまして誠にありがとうございました。

ご審議いただいた結果、下記のとおり承認されましたのでご報告いたします。

ご不明な点がありましたら、事務局までご連絡ください。

記

1. 開催日

通知日 令和2年7月 9日(木)

回答期限 令和2年7月21日(火)

2. 回答状況

委員数(会長を除く) 28名

回答数 28名

3. 協議結果

別 紙

【お問い合わせ先】

にかほ市地域公共交通活性化協議会

事務局 にかほ市役所 まちづくり推進課

連携推進班 佐々木

TEL : 43-7501 FAX : 62-9013

別 紙

第2回 にかほ市地域公共交通活性化協議会書面協議 結果

【案件】

案件第1号. 令和元年度事業報告	承認	28名・不承認	0名
案件第2号. 令和元年度決算報告	承認	28名・不承認	0名
案件第3号. 令和2年度事業計画	承認	28名・不承認	0名
案件第4号. 令和2年度予算	承認	28名・不承認	0名
案件第5号. 令和3年度地域公共交通確保維持改善計画	承認	28名・不承認	0名

【結果】

よって、すべての案件は原案どおり承認されました。

【ご意見等】

- ・コミュニティバス乗り方教室を継続して欲しい。また、今後の利用を考え、高齢者の方々に、利便性などを体感する機会があればいいと思います。
- ・高齢者向けのバス乗り方教室の開催をして頂きたい。
- ・バスロケーションシステムへ実際にアクセスしたところ、インストール不要で地図も見やすく、位置情報の更新も早い為、大変実用的であると感じました。利便性の向上に資するように普及を進めて欲しいです。
- ・バスロケーションシステムの実施に期待しています。
- ・公共交通利用者数を増加させるために、ターゲットをもっと明確にした方が対策を講じ易いのではないのでしょうか。

別 紙

第2回 にかほ市地域公共交通活性化協議会書面協議 結果

【案件】

案件第1号. 令和元年度事業報告	承認	28名・不承認	0名
案件第2号. 令和元年度決算報告	承認	28名・不承認	0名
案件第3号. 令和2年度事業計画	承認	28名・不承認	0名
案件第4号. 令和2年度予算	承認	28名・不承認	0名
案件第5号. 令和3年度地域公共交通確保維持改善計画	承認	28名・不承認	0名

【結果】

よって、すべての案件は原案どおり承認されました。

【ご意見等】

- ・コミュニティバス乗り方教室を継続して欲しい。また、今後の利用を考え、高齢者の方々に、利便性などを体感する機会があればいいと思います。
- ・高齢者向けのバス乗り方教室の開催をして頂きたい。
- ・バスロケーションシステムへ実際にアクセスしたところ、インストール不要で地図も見やすく、位置情報の更新も早い為、大変実用的であると感じました。利便性の向上に資するように普及を進めて欲しいです。
- ・バスロケーションシステムの実施に期待しています。
- ・公共交通利用者数を増加させるために、ターゲットをもっと明確にした方が対策を講じ易いのではないのでしょうか。

第2回 にかほ市地域公共交通活性化協議会

(書面協議)

【報告案件】

- 第1号 令和元年度事業報告 . . . 資料1
- 第2号 令和元年度決算報告 (会計監査報告書) . . . 資料2

【議案案件】

- 第3号 令和2年度事業計画 (案) . . . 資料3
- 第4号 令和2年度予算 (案) . . . 資料4
- 第5号 令和3年度地域公共交通確保維持改善計画について . . . 資料5

- その他 バスロケーションシステム実証実験について . . . 資料6

開催日 (回答期限)

令和2年7月9日 (木) ～ 7月21日 (火) まで

令和元年度事業報告

月 日	項 目	備 考
6 月 5 日	第 1 回 地域公共交通活性化協議会 ・報告第 1 号 H30 年度事業報告及び決算報告について ・報告第 2 号 会計監査報告 ・議案第 1 号 R 元年度事業計画(案)及び予算(案)について ・議案第 2 号 R 元年度地域公共交通確保維持改善計画について ・議案第 3 号 田抓バス停留所の追加設置要望について	出席者：24 名
8 月 9 日	第 2 回 地域公共交通活性化協議会 ・協議案件 1 にかほ市コミュニティバスに関するアンケート調査項目について	書面協議
11 月 15 日	第 3 回 地域公共交通活性化協議会 ・協議案件 1 にかほ市コミュニティバス時刻表の一部変更について	書面協議
11 月 26 日	超神ネイガーと学ぶバスの乗り方教室	市内保育園：113 名
2 月 7 日	第 4 回 地域公共交通活性化協議会 ・議案第 1 号 令和元年度地域公共交通確保維持改善事業、事業評価について ・報告第 1 号 コミュニティバス利用者アンケート集計結果について ・報告第 2 号 バスの乗り方教室事業報告について	出席者：24 名
3 月 30 日	にかほ市公共交通マップ印刷	2,000 部

令和元年度 にかほ市地域公共交通活性化協議会収支決算書

収入総額	576,052 円
支出総額	576,052 円
差引残額	0 円

【 歳 入 】

(単位:円)

款	項	目	決算額	予算額	増 減	内 訳
1 負担金	1 負担金	1 負担金	576,048	808,000	△ 231,952	にかほ市
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	0	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	0	0	
4 諸収入	1 諸収入	1 雑収入	4	1000	△ 996	預金利息等
			576,052	809,000	△ 232,948	

【 歳 出 】

(単位:円)

款	項	目	決算額	予算額	増 減	内 訳
1 運営費	1 会議費	1 会議費	152,095	240,000	△ 87,905	委員報酬 136,400円 費用弁償 12,395円 会議用お茶 3,300円
	2 事務費	2 事務費	45,652	70,000	△ 24,348	消耗品、手数料、 通信運搬費
2 事業費	1 事業費	1 事業費	378,305	494,000	△ 115,695	・バスの乗り方教室 110,000円 ・公共交通マップ印刷(追加分) 176,000円 ・利用者アンケート調査 92,305円
3 予備費	1 予備費	1 予備費	0	5,000	△ 5,000	
			576,052	809,000	△ 232,948	

会 計 監 査 報 告 書

にかほ市地域公共交通活性化協議会
会長 本 田 雅 之 様

令和元年度にかほ市地域公共交通活性化協議会会計について、諸
帳簿、決算書、預金通帳および関係書類に基づき監査した結果、そ
の内容が適正かつ経理事務が正確であることを認めます。

1. 監査期日

令和2年4月20日

2. 監査対象

令和元年度にかほ市地域公共交通活性化協議会会計

令和2年 月 日

にかほ市地域公共交通活性化協議会

監事

大橋 次雄 

監事

佐々木 正行 

令和2年度事業計画(案)

月 日	項 目	備 考
5月12日	第1回 地域公共交通活性化協議会 ・コミュニティバス大竹線の運行事業者変更について	書面協議
7月 日	第2回 地域公共交通活性化協議会 ・R元年度事業報告及び決算報告について ・R2年度事業計画(案)及び予算(案)について ・R3年度地域公共交通確保維持改善計画について ・バスロケーションシステム実証実験について	書面協議
9月下旬	第3回 地域公共交通活性化協議会 ・新規路線運行計画(案)について ・コミュニティバス時刻表の一部変更について	
10月中旬	コミュニティバス乗り方教室（超人ネイガー）	園児(年長)対象予定
2月中旬	第4回 地域公共交通活性化協議会 ・R2年度地域公共交通確保維持改善事業、事業評価について ・バスの乗り方教室事業報告について	
3月下旬	にかほ市公共交通マップ冊子版作成印刷	

【案件第4号】

【資料4】

令和2年度 にかほ市地域公共交通活性化協議会収支予算書(案)

収入総額	713,000 円
支出総額	713,000 円
差引残額	0 円

【 歳 入 】

(単位:円)

款	項	目	本年度	前年度	増 減	内 訳
1 負担金	1 負担金	1 負担金	712,000	808,000	△ 96,000	にかほ市
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	0	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	0	0	
4 諸収入	1 諸収入	1 雑収入	1000	1000	0	預金利息
			713,000	809,000	△ 96,000	

【 歳 出 】

(単位:円)

款	項	目	本年度	前年度	増 減	内 訳
1 運営費	1 会議費	1 会議費	303,000	240,000	63,000	委員報酬 87千円(14人)×3回 費用弁償 14千円(14人)×3回
	2 事務費	2 事務費	35,000	70,000	△ 35,000	消耗品、手数料、 通信運搬費
2 事業費	1 事業費	1 事業費	370,000	494,000	△ 124,000	・バスの乗り方教室 110千円 ・公共交通マップ印刷費154千円 ・公共交通マップ冊子版データ作成委託 106千円
3 予備費	1 予備費	1 予備費	5,000	5,000	0	
			713,000	809,000	△ 96,000	

生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画を含む）

令和 2 年 7 月 1 日

（名称）にかほ市地域公共交通活性化協議会

生活交通確保維持改善計画の名称

にかほ市生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

にかほ市は、平成 17 年に 3 町が合併して誕生。秋田県南西部に位置し、日本海と鳥海山に抱かれたまちであり、人口 24,072 人（令和 2 年 5 月末日現在）、総面積 241.13 km²となっている。

本市の公共交通は、鉄道 1 路線・路線バス 3 路線・コミュニティバス 5 路線・タクシー会社 2 社により構成されている。

本市、コミュニティバスは、平成 20 年の生活バス路線廃止に伴い、代替運行としてコミュニティバス運行を開始し、現在では 5 路線の運行となっている。

コミュニティバス運行は、交通弱者の通院や買い物のための移動手段として、きめ細やかな運行を行う一方、利用実績や地域住民からの要望等を踏まえて、運行経路の変更や運賃の引き下げ、停留所の増設など利用者の利便性の向上に努めてきた。

しかしながら、運転免許所持者に対する自家用車の保有率は依然として高く、さらに少子高齢化・人口減少により、公共交通機関の利用者の減少がなお継続しており、行政負担の増加が見込まれている。

また、高齢者が引き起こす交通事故に関する報道が増加しており、免許返納する高齢者の増加が想定されるとともに、自らが移動手段をもたない交通弱者は依然として存在し、地域公共交通の役割は必要不可欠となっている。

こうしたことから、にかほ市では、持続可能な公共交通網を構築するため、平成 29 年 3 月に「にかほ市地域公共交通網形成計画」を策定したほか、平成 30 年 7 月の路線変更に伴い、全世帯に「にかほ市公共交通マップ」を配布し、新規利用者への利用促進と、新路線の内容周知を図っている。

さらには、公共交通の利便性を高めるとともに、地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）を活用することにより、幹線と連結している支線を確保・維持することで、市民の生活の「足」の確保及びおでかけの創出につながるものであり、且つ、公共交通のネットワークの再構築を図るためには、コミュニティバス運行は必要不可欠な地域公共交通となっている。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

にかほ市の実態に即した、将来にわたり持続可能な公共交通を目指す。また、支線である路線と幹線（路線バス等）との相互連携による、より効率的な公共交通ネットワークの構築を実現する。

また、今年度、バスロケーションシステムを試験的に実施し、実用に向けた取り組みを行う。また、令和元年の輸送人員実績値から1%以上、それぞれの路線について輸送人員を増加させることを目標とする。

しかしながら、にかほ市地域公共交通網形成計画にある、令和3年のコミュニティバス利用者55,000人の目標については、平成30年4月からコミュニティバスを通学で利用していた上郷小学校が、学校統合により閉校しスクールバス通学となったため、上郷線の大幅な利用者の減少が見込まれ、目標値を設定した前提に変化が見られることから、今後、上郷線利用者数の推移状況を検証し、地域公共交通網形成計画の修正も検討していく。

(※にかほ市地域公共交通網形成計画 P16 参照)

輸 送 人 員				
現路線	実 績 【令和元年】 (H30.10～R1.9)	目標値 【令和3年】 (R2.10～R3.9)	目標値 【令和4年】 (R3.10～R4.9)	目標値 【令和5年】 (R4.10～R5.9)
院内・小出線	4,382 人	4,425 人	4,469 人	4,513 人
釜ヶ台線	9,289 人	9,381 人	9,474 人	9,568 人
大竹線	8,460 人	8,544 人	8,629 人	8,715 人
上郷・長岡線	8,061 人	8,141 人	8,222 人	8,304 人
上郷・小滝線	13,240 人	13,372 人	13,505 人	13,640 人

(2) 事業の効果

地域内フィーダー系統を確保することで、以下の効果が期待できる。

- ・各駅への接続による中心市街地の活性化
- ・既存公共交通との連携による効率的な運行体系の実現
- ・高齢者の外出機会の増大による社会参加や地域活性化の促進
- ・病院や商業施設へのアクセス確保による生活環境の向上

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・来年度に小学校1年生となる園児を対象としたバスの乗り方教室を実施し、安心、安全に利用していただく学習機会を創出する。(にかほ市)
- ・コミュニティバスのバスロケーションシステム実証試験を地元企業と行い、実用に向けた取り組みを行う。(にかほ市)
- ・公共交通マップを作成し、市内を運行する複数の公共交通をわかりやすく見れるようにし、利用者の幅広い活用できるようにする。(にかほ市)

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者
・ 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表 1」を添付。
5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者
・ 運行経費から国県補助および運賃収入、広告収入を差し引いた経費をにかほ市で負担。
6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称
① 合資会社象潟合同タクシー ② 株式会社三共サービス
7. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定方法 【活性化法法定協議会を補助対象事業者とする場合のみ】
※該当なし
8. 別表 1 の補助対象事業の基準二ただし書に基づき、協議会が平日 1 日当たりの運行回数が 3 回以上で足りると認めた系統の概要 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
9. 別表 1 の補助対象事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」認めた市町村の一覧 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
10. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
11. 外客来訪促進計画との整合性 【外客来訪促進計画が策定されている場合のみ】
※該当なし

12. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 【地域内フィーダー系統のみ】
・ 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表 5」を添付。
13. 車両の取得に係る目的・必要性 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
14. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
15. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の負担者 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
16. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） 【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
17. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
18. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
※該当なし

(2) 事業の効果	
※該当なし	
19. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】	
※該当なし	
20. 協議会の開催状況と主な議論	
・平成30年2月19日(第3回)コミュニティバスの路線変更、運賃改定、ダイヤの変更運行予定について合意を得られた。 ・平成30年6月26日(第1回)平成31年度地域内フィーダー系統確保維持改善計画について協議、承認を得られた。 ・平成31年2月12日(第2回)新路線の運行状況、バスの乗り方教室事業について報告し委員24名から合意を得られた。 ・令和元年6月5日(第1回)令和2年度地域内フィーダー系統確保維持改善計画について協議、承認を得られた。 ・令和元年8月9日(第2回)にかほ市コミュニティバスに関するアンケートの調査項目について、書面協議にて承認を得られた。 ・令和元年11月15日(第3回)にかほ市コミュニティバス時刻表の変更について、書面協議にて承認を得られた。 ・令和2年2月7日(第4回)令和元年度地域公共交通確保維持改善事業事業評価、コミュニティバス利用者アンケート集計結果、バスの乗り方教室について報告した。	
21. 利用者等の意見の反映状況	
・平成26年度 にかほ市コミュニティバス運行に係る市民アンケート実施 ・平成28年度 にかほ市地域公共交通網形成計画策定に係る市民アンケート実施 ・平成29年度 コミュニティバス沿線自治会長と路線再編について意見交換会を開催 ・平成30年度 バスの乗り方教室事業の際に参加保育園に対しアンケートを実施。 ・令和元年度 コミュニティバス利用者へ利用者アンケートを実施。	
22. 協議会メンバーの構成員	
にかほ市	・農林水産建設部 ・商工観光部 ・市民福祉部 ・教育委員会
交通事業者	・東日本旅客鉄道 株式会社 ・羽後交通 株式会社 ・合資会社 象潟合同タクシー ・株式会社 三共サービス
地方運輸局	・東北運輸局 秋田運輸支局
都道府県	・秋田県観光文化スポーツ部 ・秋田県由利地域振興局
交通施設管理者等	・秋田県由利地域振興局 ・東北地方整備局秋田河川国道事務所 ・にかほ警察署
その他協議会が必要と認める者	・自治会長連絡協議会会長 ・にかほ市商工会長 ・にかほ市観光協会会長 ・にかほ市社会福祉協議会長 ・にかほ市老人クラブ連合会長 ・にかほ市PTA連合会長 ・にかほ市地域婦人団体連絡協議会長 ・公募委員 ・秋田県立大学 システム科学技術部経営システム工学科准教授

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田 1

(所 属) にかほ市企画調整部まちづくり推進課

(氏 名) 佐々木 亮

(電 話) 0184-43-7510

(e-mail) ryou-s@city.nikaho.lg.jp

注意： 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

また、既存計画部分で生活交通確保維持改善計画の記載項目に合致する部分は、そこからの転記や、該当部分を明確にした上での添付などにより活用いただいて差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。(ただし、上記 2.・3. については、地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、生活交通確保維持改善計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります)。

外客来訪促進計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

バスロケーションシステム実証実験について

・本年6月より、TDK株式会社と共同で低消費電力無線を活用した取り組みの実証実験を行っています。

【実証実験の概要】

- 1) 市内を循環しているコミュニティバス5台全てにおいて実証実験を実施しています。
- 2) ひばり荘及び仁賀保勤労青少年ホーム屋上に無線受信アンテナを設置しています。
- 3) バス車内掲示のチラシ及びバス停標識に掲示しているQRコード等から専用サイトにアクセスして頂き、バス利用者から実験的に利用してもらいます。
 - ・○印＋路線名で車両の位置を表示
 - ・約10秒で自動更新
 - ・バス停の位置を表示

※実証実験として機器等の費用については、TDK株式会社にて負担いただいています。

【今後の予定】

- ・本システム利用者へアンケート実施。
- ・来年度以降の本格導入について検討。

にかほ市コミュニティバス位置情報システム 実証実験（6月～3月末）

スマートフォンやパソコンで、下記、QRコードまたはURLにアクセスし、バスの位置情報を確認できます。実験中により不具合が発生する場合があります。

↓こちらよりご利用下さい↓



https://buslocation2020.s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/index_nikaho1.html

【お問い合わせ先】 にかほ市 まちづくり推進課 TEL : 0184-43-7510

(バス車内掲示チラシ)